

令和5年度 第1回「SAGA コラボレーション・スクール」
学校運営協議会（学校魅力強化委員会） 議事録

- 1 日 時 令和5年5月23日（火）15:00～17:00
- 2 場 所 本校 進路教室
- 3 出席者 <学校運営協議会（学校魅力強化委員会）委員>
川島委員、市丸委員、梅野委員、川崎委員、原委員、前田勝委員、前田真委員、
松田委員、山下委員
<校内委員>
岡本校長、山口教頭、池田、田島、松尾、山口
<アドバイザー>
細國指導主事

4 会順

- (1) 学校長挨拶（校長）
(2) 出席者紹介（教頭）
(3) 本年度の学校運営協議会について（教頭）
(4) 1年生「総合的な探究の時間」（山口）
(5) 議題

- ① 1年生「総合的な探究の時間」のフィードバック
② 普通科改革について

- (4) その他 今後の予定

◇第1回 令和5年5月23日（火）15:00～17:00

全体合同 本年度の学校運営協議会の活動内容、講演、授業支援等

◇第2回 令和5年7月11日（火）15:00～17:00

企画運営部会委員…学校評価計画報告 地域協働部会委員…総探時の支援

◇第3回 令和5年10月～11月の総合的な探究の時間

企画運営部会委員…学校評価中間報告 地域協働部会委員…総探時の支援

◇第4回 令和6年2月中旬の総合的な探究の時間

企画運営部会委員…学校評価最終報告 地域協働部会委員…総探時の支援

※ 地域協働部会委員は、上の4回以外でも必要に応じて参加できる

議事録

(1) 学校長挨拶

多忙な中、委員を快く引き受けていただきありがとうございます。この後5名の方には教室で講話をしていただくことになっています。

この学校運営協議会は今年度2年目で、県内9校が指定を受けています。資料の3, 4ページに本校の運営協議会の目的を明記しています。委員の皆様には、学校運営に関わる一員としてご意見を頂きたい。報道等でご存じとは思いますが、本校は来年度から新しくコース制をとるようにしています。このコース制がよくなるためにも委員の皆様のご意見が必要です。どうぞよろしくお願ひします。

(2) 出席者紹介

各自で自己紹介

(3) 本年度の学校運営協議会について（教頭）

今年度は13名の方に学校運営協議会の委員を引き受けていただいている。資料5ページにあるように13名の委員の方を企画運営部会と地域協働部会の2つのグループに分けさせてもらっている。それぞれの部会で協力をお願いします。この後5名の委員の方に1年生の総合的な探究の時間で講話をお願いしている。講話をされない委員の方はこの後、授業に自由に参観をして下さい。

(4) 1年生「総合的な探究の時間」（山口）

昨年度、本校のスクールポリシーをベースに総合的な探究の時間のカリキュラムを作成した。1年生はそのカリキュラムに沿って総合的な探究の時間を進めている。資料にあるように、前回地域の魅力を発見しようというテーマで活動を行っている。このあと、地域の魅力について委員の方に話をさせていただくことになっています。

記録用に写真を撮らせていただくので了承をお願いします。

(5) 議題

① 1年生「総合的な探究の時間」のフィードバック

A 委員 講演をして頂いた委員の方に、授業の感想を聞かせて頂きたい。

B 委員 思ったより反応があった。今、高校生の活動支援をしているが、これまで西高生はおとなしいという印象だった。質問など積極的にしてくれるなど、1年生は反応が良かった。

C 委員 新聞社としての立場、他の地域から来ているという視点で、唐津の魅力や自然について話した。また、暮らしの視点からの話をした。例えば唐津にはリサイクルショップがこれまでなかったことなど、教科書的な内容にならないようにこれから生徒たちに伝えていきたい。

D 委員 話の途中でメモ書きをする生徒もたくさんいた、唐津が好きな人はと質問した

が、ほとんどが手を挙げた、嫌いなどという人はいなかった。中には大好きで唐津を愛しているという生徒もいた。若い世代に魅力について話をしてみても、自分自身の今後の課題が見えてきた。

E 委員 「久留米と唐津の関わり」、「よそ者が考える唐津」というテーマで話をした。浜玉と久留米には歴史的な深い関係があることを伝えた。魅力には今という3次元の空間だけでなく、そこに時間軸を加えたものが本当の魅力になるのではないかということも伝えた。代表生徒の謝辞も予定されたものでなく自分の言葉で話しておりとても良かった。

F 委員 教員の立場で、公教育の役割について話をした。後輩となる生徒が育ってくればいいと思った。

A 委員 参観された委員の方の感想を聞かせてほしい。

G 委員 いろんな視点からの唐津の魅力を伝えられていた。自分の高校生時代とは全然違うと感じた。

H 委員 生徒がメモをしたりしているのはすごいと思う。

I 委員 話をされる内容が、郷土愛があってこそその話でよかった。本当に良かった。

J 教諭 私たち教員が話すのとは全然違う。大人がいろいろな視点でいろいろと話をしてもらえたのでとても良かった。

K 教諭 これからの計画は、資料にとじ込んでいる総合的な探究の時間の年間計画のようになっている。委員の方に総探の在り方や方向性などアドバイスや意見を頂きたい。

F 委員 唐津、北部九州はエネルギーの供給基地である。原発、火力、風力、揚水発電など、さらに原発関係の保護者もたくさんいらっしゃる。このような視点があることも子ども達に気付いてほしい。風力発電について九州大学との連携もできるのではないかと、学際探究に生かせるのでは。子どもたちは、先生方から「視点」を与えてあげないと考えられないもの。他に馬渡島の柑橘、加唐島の椿油、コスメテック構想（以前肥前中にいたときに、肥前には椿が多かったので何か取り組みができないかとしたが、地域の方は高齢化で連携が実現しなかった）、他にも視点を変えて、自分たちの身の回りにあるものでやれるものはいっぱいあるのではないかと。港に関わる視点から唐津市に提言できる形にできないか、松浦魚市場と唐津魚市場との違い（アジフライなど）など、どれだけ唐津の魅力を掘り起こす視点を与えられるかが鍵だと思う。

A 委員 昨年度も関わりがあったが、フィールドワークをどのようにするかから逆算して、やりやすい所から始められるように計画を立てた。来年度以降は、このまま同じメンバーで行くのか、どのように多様性を持たせるのか等、この1年生には見本がないけど、これからの見本になるというモチベーションを与えていきたい。

B 委員 高校生はそもそも魅力や地域課題などには興味がないのではないかと。高校生がやりたいことに、地域課題をくっつけたほうが探究活動はやりやすいのでは、やりたいことが見えてこない生徒が多いが。

F 委員 理想はそうであるが、160名を一度にそれぞれやると大変だ。この活動を通して総合選抜などの大学入試につながるようにしていくべきだ。いくつかのメニューの中から生徒が選べるようにしたらどうか。

G 委員 肥前町にある増田神社について調べてほしい、絵本を作ったり、お守りを作ったりとか、掘り下げればいろいろなことができると思う。

F 委員 時間軸という話があったが、虹の松原一揆の富田さん、久里にある石碑、鬼塚の歴史など小学校で学んだことを掘り下げて、小学生に教える活動でもいいのではないか。

②普通科改革について

岡本校長から普通科改革について説明。来年度入学制から地域探究進学コース、学際探究進学コースの2コース制をとることになっている。教育課程、文理分けなど、幅広いカリキュラムを現在検討中である。今後作業を進めていく。

(4) その他 今後の予定

今後4回の会議を予定している。地域協働部会は7月11日(火)に探究の授業支援を予定している。企画運営部会は7月下旬に開催予定。今後の開催日時は未定。早い時期に日程を決めて連絡をする。